

町政懇談会

対話でしるくる元気なまちづくり

町長との直接対話の場として、町政懇談会を7月から順次開催、述べ250名のみなさんが参加し、活発な意見交換が行われました。今月号では、11月に全町民対象に開催の「いきいきはばろ・ふれあいトーク」と、10月の産業別町政懇談会の主な内容をお知らせします。「ご意見、ご提案等は、充分検討し、今後の町政に活かすことができることから取り組んでまいります。」◆印は参加者 ▼印は町長他、町の発言です。掲載の都合上、一部編集して掲載しています。

いきいきはばろ

ふれあいトーク

11月22日開催 35人参加
すこやか健康センター

新しい火葬場について

◆火葬場ができた後の維持管理や人員配置はどうなるのか。
▼苦前、初山別と3町村で構成する衛生施設組合が事業主体で、業者委託を想定しています。

他の町村と重なっても大丈夫か。1日にできる数や料金は？

▼通常は1日に2体、火葬炉が2基あるので2回ずつ時間差などで4回できる計画で、充分対応可能です。料金は3町村で協議しています。

津波など災害対策について

◆津波などが発生したら、保育所が一番危ない位置にある

と思うが、安全な場所に移転、新築の考えはないのか。

▼保育所については、災害に對してだけでなく老朽化というところで、ここ数年話を進めている。

▼津波対策では、羽幌町は道から津波避難計画のモデル地区に指定され、今、避難計画の策定を進めています。国や道、専門家も交え、これから町民の方々と交えて計画を立てようとしています。

3月のハザードマップ説明会の後で大震災になった。どこへ逃げればいいのかは地域性が大事。町民を交えた場では煮詰まったことも出るのか。

▼各町内会から代表を出していただき、どう避難したらいいのか、みなさんと図上訓練をやるようにしています。今回は、震災前に作成したハザードマップの津波想定でやります。今、道がマップの

改定作業に入っているので、今回避難計画を作り上げ、その後、道の改定作業が終了後、もう一度改定することになります。

みなさんと一緒に考えていきたい。みなさんのご意見をいただきたい。が、より安全な計画を一緒につくりあげていきたい。

特別養護老人ホームについて

しあわせ荘が新しくなったが、待機者がたくさんいる。増床が必要ではないのか。

▼現在の介護保険法のもとでは人数制限があり、増床は簡単ではない。今、ショートステイを含めて計121床、介護保険法の補助を受けるには、60とか80床で、従来までの数を確保するために、補助ではなく町単独で基金や起債等で建設した。現在の数は本町の考えられる最大限の数です。国は居宅介護を前提の考えで、

現在は増床は認められていません。介護の予算が増えると、町民の負担する介護保険料にも影響します。医療費もそうだが、病気になるための自衛策や、「自分で自分の健康を守るんだ」という意識も大切と言えます。

道立羽幌病院の医師確保等対策について

◆道立羽幌病院の医師対策は？

▼1年中できることは何かと取り組んでいる。留萌中北部で医療対策協議会を作り、連携して何度となく、道に要望している。道外にも目を向け、医師確保のために昨年整備した町の支援制度も活用しています。

その他の話題

・風力発電について
・健康増進、健康保持の取り組みについて（禁煙の取り組み等）
※11月21日開催の予定でしたが、悪天候のため22日に変更し開催しました。



産業別町政懇談会

商工業

10月11日開催
商工会会議室 29人参加

羽幌町の独自政策について

◆町内の住宅情報がなく、転入者や若年層が家探しに苦労している。移住促進など、町の独自政策が見えない。

▼町営住宅の空き情報と、民間アパートの連絡先一覧をホームページに掲載しているが、親切な情報をできる範囲で整理して考えてみたい。

今、自治体財政は、非常に不安定な時代。町民の方々からも自分達の足元を見た政策提案を出してほしい。

南3条通りの活性化について

◆旧営林署跡地を、商工会で借り、駐車場として一般開放しているが、当面の活用がなければ整地してほしい。

▼直さなくてはならない所は直します。しかし、その後のことがある。南3条通りは、役場からサンセットプラザまでという意味も含め、旧法務局も合わせ、町の商店街の核として、なにかしらの活性化策を具体的な形にしよう。今、取り組み話し合っています。

下水道接続補助について

◆下水道供用開始後3年以内の補助金制度は今の時点ではなくなっている。補助金の見直しは考えているか。

▼下水道の普及率向上は、大きな課題です。下水道区域外の方々のための新たなし尿処理施設を考えなければならぬが、そのためにも普及率を上げなくてはならない。そのための政策を方向づけして、今発表しようとしています。

その他の話題

・プレミアム商品券について
・リフォーム助成について

漁業

10月18日開催
漁村センター 17人参加

新規漁業者への支援について

◆昨年要望したが、その進捗状況を聞きたい。若い人に夢が持てるような羽幌独自の施策をもてないか。

▼検討したが、はつきりとした形はできなかった。農業との整合性もあつて、もう一度再検討することになっている。前向きな若者がいるのは大切なこと。

新羽幌港供用開始にむけて

◆現在はフェリー近くに公衆トイレがあるが、移設後は新たにトイレを建設するの。

▼新しく建てるのではなく、新フェリーターミナルのトイレで対応できるように大きく作る予定。

◆フェリー会社が開いていないと使えないのは不便。夜間の釣り人などもある。漁業者も夜間百人くらい出入りする。公共性を重視したトイレは絶対必要。

▼建物の外からも出入りできるようにして、夜間も使えるように対応可能と思う。

◆港へのアクセス道路について、決定したというが、住民の声は聴いているのか。もう少し国道とのアクセスをスムーズにするよう考えられないのか。

▼いろいろ検討した結果、議会の了承を得て決めたこと。地域住民への説明もしています。なるべくストレートな形で国道に進入できればと開発とも検討した。◆フェリー会社や漁協とも協議の場をもつことが必要では。▼改善に向けて詰めの場を早急にもちます。

その他の話題

・漁協本所、市場事務所建設に関連した施設関連の要望。

農業

10月21日開催
農協会議室 10人参加

農協施設等への支援について

◆今年は3年ぶりの豊作。道内

トップクラスの高品質米となったが、いもち対策等、今後も支援を願いたい。小麦は年々面積が増え、新たな乾燥貯蔵施設が必要。国の補助が決まったが、町の支援も願いたい。また、来年度から5年間の農業振興計画を作成するが、町と農協一体となり進めたい。

▼一緒にやっていくということを基本に、一つひとつ話し合いながら取り組んできた。

町道の除雪について

◆除雪車が来るのが寿町は市街地区の後に、朝、スクールバスが来るまでに間に合わない。遅すぎるので、農家が各々除雪している。委託と聞くと、今年もそうなのか。

その他の話題

・花嫁対策について
・T P Pについて

※各会場での意見交換の主な内容は町ホームページでご覧いただけます。また、7月から9月までの開催分については広報10月号に掲載しています。

お問い合わせ

総務課広報広聴係
☎62・1211

